

楽楽

Rakulaku


<http://asahikon.sakura.ne.jp>

2019年6月15日発行
令和元年6月号
広報担当：藤田みさき

◆練習スケジュール◆

月 / 日	会 場	時 間	備 考	
6月	22日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	29日(土)	//	//	
7月	6日(土)	//	//	
	13日(土)	//	//	
	20日(土)	藤池公民館(注)	//	
	27日(土)	旭丘公民館	//	V.T.《18:00~19:00》
	28日(日)	尾張旭市文化協会 ミュージックフェスティバル		詳細は後日お知らせします
8月	3日(土)	尾張旭市文化会館	18:30~21:00	●ホール練習 詳細は後日お知らせします
	10日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	17日(土)	お盆休み		
	18日(日)	旭丘公民館	19:00~21:00	V.T.《19:00~21:00》(注)
	24日(土)	//	//	
	31日(土)	//	//	
9月	7日(土)	//	//	
	14日(土)	//	//	
	21日(土)	中央公民館 306	//	
	28日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	

- ◆備考欄 P練習=パート練習 V.T.=ヴォイストレーニング 特練=特別練習
♪ V.T.とは = 団員全員(男・女)で取り組む、トレーナー指導による発声練習です。
♪ P練習とは = パート単独での自主練習(通常練習の補足)です。

注!) 7月20日は 藤池公民館です

注!) 8月18日は19時から21時まで2時間ヴォイストレーニングを行います。

●退団のお知らせ

大変残念ですが、合唱祭参加を最後に3人の方が退団されました。いずれも主力となるメンバーだったので、ソプラノ、テノールは今後ますますの努力が望まれるかと…(アルト、ベースもですけどね(笑))。これからのお三方のご活躍をお祈りいたします!!

ソプラノ 井上徳枝さん ソプラノ 徳永信子さん テノール 藤 淳磨さん

●技術委員会報告

ボイトレについて

神谷先生、石川先生と今後について打ち合わせし、それをもとに豊田先生、橋本先生と打ち合わせした結果、今後のボイトレは次の形で進めていきます

神谷先生からの要望によりパート内の声のまとまり、ピッチ、息の流れ、声質の改善についてトレーニングをしていきます。

年間6回の2時間レッスンと6回の1時間レッスンで、ボイトレにより神谷先生の練習が無くなることはありません。

費用としては、一時間 8,000 円をお支払いし、これに伴っての団費の変更はありません。

より良い演奏をするためのボイトレです。欠席のないようにお願いします。

伊藤



県合唱祭を終えて

《2019年6月9日 於：名古屋文理大学文化フォーラム 演奏曲：「Bésame mucho」「心のなかで」》

県合唱祭当日6月9日は朝から雨。土砂降りじゃないだけマシカーと稲沢の会場に車を走らせ、集合時間の1時間前に到着。ホールへの階段を上ると、さすがは旭混声！もう喫茶室でモーニングサービスをほおぼる早起きの猛者たちがいる。集合時間10分前には、ほぼ全員集合してしまった。来年は練習開始時間5分前の集合にしよう。

今年は、都合でブロックが合体し14団体の演奏ブロックとなった。例年8団体前後なのでかなり多い。その余波は事前練習にひびき、希望が10団体もあるのにピアノのある練習室は1室のみ。あえなく我団愛用の電子ピアノでの練習となった。練習時のベサメは上々。ベースの例のリズムがよく響いていた。昨年10月から呪文のように唱え、いや歌い続けてきたベサメも、今回が集大成か！？

昨年も大ホールで演奏しているが、何故か今回はとても広く感じる。気のせいかな？ 周りの距離も遠いような。痩せたかな？ 神谷先生の方向を見る。その向こうに前日一緒に会場係をした彼女の姿が。知り合いを見ながら歌うことがこんなに恥ずかしいとは！

長丁場の中、誰も体調を崩すことがなく、演奏も無事終了。よかった。

神谷先生：「みなさんお疲れさまでした。ステージに上がってひな壇がすごく奥でびっくりして、ピアノもみなさんも遠くて大丈夫かなーと。最初ベサメのアルトが低すぎて、何だこれは！からはじまり、やばいぞ…と。でもなんとか盛り返して。本番はみなさんもっと自信と度胸をつけて、嘘でもいいからある程度テンションを上げないといけない。あまりにも控えめ。ホールの空気を自分たちのものにする度胸というか、ぐっと一歩踏み込まないと。同じところでグルグル回っているだけでは〜〜〜そういうことが大事かなと。自分たちでもっとテンション上げてください。2曲目ピアノが入って何とか盛り上がってきたけど、どうい

う風に聞こえていたかはちょっとわかりません。中ホールの方がいいのかなと思ったり。皆さん各自反省すべきところは反省して、頑張りましょう！！」

石川先生：「今日はステージの上で一番何が嫌だったか言うと、神谷先生との距離がすごくあって、いつもの神谷先生の息づかいとか笑顔とか表情とかとても大好きなんですけど、それが今日は全然感じとれなかったのでそういうところがとても嫌でした。そして、そう思っているうちに終わってしまいました。」

神谷先生：「今日は最初にニコッと笑顔をつくるのを忘れました。気をつけます。」

神谷先生、石川先生、ありがとうございました(^_^♪

S ハタノ



♪名古屋フィルハーモニー交響楽団「第九」演奏会 合唱団員募集♪

愛知県合唱連盟が第九の合唱団員を募集しています。

合唱団はオーディション合格者により組織されます。

出演費用は無料です。

練習は、9月13日から、毎週金曜日の18:30~20:30。伏見の朝日ホール（朝日新聞社朝日会館15階）で行われます。

演奏会の概要、公演日、オーディション概要は下記の通りです。

皆様のご参加をお待ちしています。

記

☆演奏会の概要(イ・ロ 2回とも出演)

日 時	イ) 12月13日(金)	18時45分開演
	ロ) 12月14日(土)	16時開演
会 場	愛知県芸術劇場コンサートホール	
指 揮	小泉 和裕	



ルートヴィヒでございます

合唱指導 河辺泰宏、神田豊壽、金原聡子、近藤恵子

練習ピアノ 水野みか、渡部真理

☆オーディション

日 時：①8月16日(金) 16:00~17:00 ②8月16日(金) 18:30~19:30

③8月30日(金) 18:30~19:30

会 場：朝日会館15階朝日ホール

*各パート、8小節ほどの第九の課題があります。

*以上の日程から1日選び、参加申込書にご記入ください。

*団内締め切り7月13日(土)

詳細は、Sハタノまで

ホームページの練習日誌 《5月》

5月11日(土) ベース：酒井敦智

19:00~21:00 神谷先生・ピアノ石川先生による 通常練習

- 1, 郷愁 (混声合唱組曲 わがふるき日の歌 5番)
 - ・新しく楽譜が配布され、音取りをしていただきました
- 2, Besame mucho
 - ・県合唱祭向けで、ベース 2 小節を追加して 39 小節からスタートしますので確認をお願いします (DSから 4 小節だけ指パッチンをいれてください)
 - ・ベースは打楽器のように T u n - c h の c h を意識する事と t e n g o m i e d o のデクレッシェンドについて復習をお願いします
 - ・2 拍 3 連のリズムが長く重たくならないように注意してうたいましょう
 - ・アルト/テナーは裏拍ではいるところについて 早くならないようシッカリ揃えていく事
- 3, 心のなかで
 - ・出だして曲の感じがだせるよう、前奏をよく感じ 音程が下がらないように注意しましょう
 - ・テヌート(じんせい / いい 他)がついている箇所の歌詞についてシッカリ表現できるよう意識していきましょう
 - ・クレッシェンド/デクレッシェンド 強弱について細かく指示がありますので指揮をよく見て歌いましょう。
 - ・ベースは 91 小節の “かすかだった” 他ではしらないように注意しましょう。また、112 小節の音は 109 小節と同じ音ですので確認をお願いします
- 4, 心の瞳
 - ・通して音取りをしていただきました、リズムが悪いところと タイミングよく入れない箇所がありますので復習と確認をお願いします

5月18日(土) ソプラノ：高橋まゆみ

19:00~21:00 神谷先生、石川先生による通常練習

① 郷愁

○階名唱で通し練習

(全パート)・それぞれにメロディの確認と細かく音程のズレを修正

- ・タイを含んだリズムの取り方に注意
- ・87 小節の和音は、全く新たな別の気持ちで臨んで歌う

(ソプラノ)・C の音が低い、暗い、よどんでいる

(アルト)・86 小節の音を変更(3 つ目の 8 分音符 G の音を Fis に)
Fis Fis G G → Fis Fis Fis G

(ベース)・32 小節の音を変更(休符のあとの 8 分音符 Es を D に) Es Es → D Es

② A Little Jazz Mass (BOB CHILCOTT)

○23 小節目まで各パートごとに音取り練習

- ・18 小節の和音の移り変わりは、全く別世界に入るつもりで思い切って音をとる
- ・繰り返されるメロディパターンを覚えれば歌いやすいです

○最後まで、初見階名唱

③ Besame mucho

○暗譜で通し練習(県合唱祭バージョンで)

- ・歌いなれて緊張感がなくなりつまらない曲になって来たという指摘。楽譜に忠実に、緊張感をもって、正しいリズムとダイナミクスではっきり歌うように
 - 出だし～ ソプラノのフレーズ感(besame のあと切らない)
 - 55 小節～ pa pa pa ra pa pa pa rai ra の力の抜き加減
 - 31 小節～ 4 小節間のフィンガースナップを間違えないこと
 - 65 小節 mie-do----の入りを P にして、クレッシェンド→sfz→P の曲想を

67小節～ アルト、テナーの besame のリズムのきざみ
ベースの ch を忘れずにきちんと無声化すること



④ 心のなかで

○暗譜で通し練習（詳細練習はDまで）

- A ・13小節～ じゅくされてゆく のクレッシェンドの歌い方を滑らかに
ゆく にかかっているスラーとメゾスタッカートの歌い方、抜き方
・23・24小節の いーいー で顔演技をしてBの1拍めにつなげる
- B ・男声の出だしが重い
・40小節アウフタクト～ いーいーーー はU字型のディクレッシェンドで歌う
- C ・アルトの50小節アウフタクト～ ひとーたちのー の付点のリズムで押さない
切らない、かつ甘くならないレガートで歌う。Cの音程が悪い
・ベースのクレッシェンド、ディクレッシェンドに心をこめて歌う
- D ・77小節 いーいー はもっと歌いたい感を残した切り方でピアノ間奏につなげる
期待感と幸福感を表現する
- G ・ソプラノの119小節 くれるとー が重たすぎる。押さえつけないで歌う

5月25日（土） テノール:合瀬弘正

19:00 ～ 21:00 ヴォイストレーニング

男声 : 橋本先生

参加人数 テナー:5名（現在のフルメンバー） ベース:7名（新人は全員参加）

導入部 団長より再度趣旨説明後、橋本先生よりヴォイストレーニングの方針につき説明あり。

練習内容

① 体の脱力と姿勢

まず手首、肘、腕、首、胸の順に脱力し、最後に腰を折るように脱力、その後、背骨の関節を一つずつ積み上げるように、上半身を起こす。最後に肩を引いて旨を張る。この姿勢が合唱の姿勢となる。宿題として、脱力の練習を日々心掛ける。

② 呼吸

まず、息は吐き切ることが重要で、そうでないと息が充分入らない。また、息は届かせたい場所より吸うイメージを持つことで響きが良くなる。宿題として息を吐き切ることと息を背中に入れるイメージを曲の練習でできるだけ実践してみる。

③ 音程

今回はB,Tともに実際にAの音を声をだしてみた。最初全員、次は4人ずつに分けて、互いの声を意識して合わせる練習をした。これにより、かなり個人の声が消えて、一本の声に近くなった。次に二人一組となり、片方が、同じ音を出し続け、もう一方は半音上、戻り、半音下、戻りというようなことをやって、半音のぶつかりを体に植え付ける練習も行った。これにより、不協和音を心地良いものにして、ユニゾンをさらに響かせることが出来るようになる。

これも宿題として、練習の合間などでやってほしい。

5月25日（土） ソプラノ:久野希見子

19:00 ～ 21:00 ヴォイストレーニング

女声 : 豊田先生

練習内容

かなり細かなところからその時々でアドバイスをもらいました。それらが自然にできるよう身についていくように通常練習に活かしていきたいです。

ハモる声 空気を含む率を多くするとハモる声になる。主張する声はハモらない。ソプラノの高い音は主張しがちになるので体でカバーして主張しすぎない声にする。努力が必要。

胸郭を広げたまま丹田の力を抜かずに発声する。お腹を凹ませて力を入れない。肋骨を膨らま

せたい。体に力を入れているけれど首に青筋立てたり、怖い顔しない。涼しい顔をして発声する。吸って吐いてのコントロールを声を出すときに使う。歌うことに一生懸命になると息のコントロールがだだくさになる。

6人ずつで 4人ずつ発声呼吸に伴ってどこが動くのか確認。胃の辺りが動く人、丹田が動く人
ロングトーン スタッカート 息が滞らない練習

ユニゾンで歌う練習。胸郭を広げて横隔膜を下げる。丹田に意識をするとこそぞという時に使いこなせるようになる

5拍のユニゾンを歌う。揃って初めて揃って終わる

マイルドの声にする。輪になると声圏の中心で一つに揃うが一行になると声がばらける。

意識と息の問題。息を吐く向きは天井に。みんな揃えるといい声にまとまる。息がまっすぐだと
はハモらない声になる（掌に息を吹きかけて温める時の息の出し方）

トーンクラスター 同じ音を歌う人と動く音が動く人の2人1組でハモリを感じられる練習をした。

違う音に移る練習。体は筒のまま息で歌えるようにする。4人組で歌う。歌っている時の舌の位置。下顎歯茎に触っている位置を定位置とし、動いたとしても元の位置に戻す。

真剣さは伝わるが怖い顔で歌わない。四分音符は音の玉があると思って歌う。（音をのべっと伸ばすと下がってしまう） 息継ぎをするときは次の音を準備しておく

息こっち！歌っていると息の向きがおろそかになる。にこやかに！笑顔がなったときアドバイスをもらう。4人1組でリレー形式で発声する。待っている間に音の変化を知る。体のスタンバイを忘れずに。胸郭、丹田を良い状態で歌えるようにする。強弱記号に振り回させないように。

息の流れを観察して歌う。声の音量ではなく、息のコントロールで歌えるようにする

5月26日（土） アルト：後藤せつ子

19：00～21：00 神谷先生、石川先生のご指導による通常練習。

☆郷愁：階名での音取り、歌詞読みのもと歌詞をつけて歌いました。

☆ベサメ：31小節の指鳴らしは 1拍目で準備、2拍目 4拍目で鳴らします。
リズムがなかなか安定しません。あわてず、落ち着いてうたいましょう。

☆心のなかで：各パートとも音を正確にとつてうたいましょう。

♪コンサート情報♪

合唱団 GMC 演奏会 2019 おもひ、おもはれ

♪ 「A Little Jazz Mass」、オリジナルアレンジステージ「恋」 他
指揮：梶田慶太
ピアノ：石川ひとみ先生、重田明佳音

と き：7月7日(日) 14：00 開演
会 場：OKB ふれあい会館 サラマンカホール(岐阜市)
料 金：1,000円(全自由席)

石川先生のご出演は
3・4ステージです